



2025 年 2 月 21 日

会社名 窪田製薬ホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役会長、社長兼最高経営責任者  
窪田 良  
コード番号 4596 東証グロース  
問合せ先 広報・IR 部  
(TEL : 03-6550-8928 (代表) )

## 日本における VAP-1 阻害剤に関する新規特許取得のお知らせ

窪田製薬ホールディングス株式会社(本社：東京都港区、以下「当社」)は、当社の 100%子会社のクボタビジョン・インク(本社：米国ワシントン州、以下「クボタビジョン」)が、日本特許庁より取得した白血球接着分子 VAP-1 阻害剤に関する特許についてお知らせいたします。

当社は、当該技術、およびその他のパイプライン全てにおいて強力な特許ポートフォリオを構築・維持することで企業価値の最大化を図っております。

VAP-1 阻害剤は、白血球接着分子として機能するとともにセミカルバジド感受性アミン酸化オキシダーゼ (SSAO) の酵素活性を併せ持つユニークな糖たんぱく質としても知られ、主に炎症が原因の疾患を治療するための有望な新しい薬剤として期待されています。クボタビジョンは、ぶどう膜炎、糖尿病黄斑浮腫、ドライアイ、術後の眼炎症などの眼疾患に対する新しい治療薬の研究開発を行う中で、他の既存の VAP-1 阻害剤と比較して非常に高い効果と選択性を持つ新しい経口型 VAP-1 阻害剤を発見しました。

当初、この阻害剤は炎症性眼疾患を対象としていましたが、その後、治療ニーズの高い神経炎症（例：アルツハイマー病やパーキンソン病）や肝疾患（例：非アルコール性脂肪肝炎（NASH）および代謝機能異常関連脂肪肝炎（MASH））など、より広範な疾患領域にも研究対象を拡大しています。

さらに、VAP-1 阻害剤は、ウイルス感染による急性呼吸窮迫症候群（ARDS）、動脈硬化や心血管疾患、乾癬、アトピー性皮膚炎、糖尿病性腎疾患、変形性関節症や慢性疼痛、転移性がんなど、複数の炎症性疾患にも応用可能性を秘めています。他の既存の VAP-1 阻害剤と比較して、クボタビジョンが開発した新しい阻害剤は、より多くの疾患に高い効果をもたらす可能性があり、その高い選択性により、治療効果の向上と副作用リスクの低減が期待されています。

なお、本特許は米国では既に取得済みであり（2024 年 12 月 12 日付「[米国における VAP-1 阻害剤に関する新規特許取得のお知らせ](#)」参照）、今回は日本での特許取得のお知らせです。

詳細は、以下の通りです。



## 記

発明の名称 : VAP-1 の阻害剤  
登録国 : 日本  
特許番号 : 第 7615025 号  
特許取得日 : 2025 年 1 月 7 日  
特許権者 : アキュセラ インコーポレイテッド

以上

### 窪田製薬ホールディングス株式会社について

当社は、世界中で眼疾患に悩む皆さまの視力維持と回復に貢献することを目的に、イノベーションをさまざまな医薬品・医療機器の開発及び実用化に繋げる眼科医療ソリューション・カンパニーです。当社グループは、革新的な治療薬・医療技術の探索及び開発に取り組んでいます。現在は、ウェアラブル近視デバイス「クボタメガネ」および、在宅・遠隔医療分野（モバイルヘルス）における医療モニタリングデバイス「eyeMO®」などの医療機器開発に注力しております。

（ホームページアドレス：<https://www.kubotaholdings.co.jp>）

### 免責事項

本資料は関係情報の開示のみを目的として作成されたものであり、有価証券の取得または売付けの勧誘または申込みを構成するものではありません。本資料は、正確性を期すべく慎重に作成されていますが、完全性を保証するものではありません。また本資料の作成にあたり、当社に入手可能な第三者情報に依拠しておりますが、かかる第三者情報の実際の正確性および完全性について、当社が表明・保証するものではありません。当社は、本資料の記述に依拠したことにより生じる損害について一切の責任を負いません。本資料の情報は、事前の通知なく変更される可能性があります。本資料には将来予想に関する見通し情報が含まれます。これらの記述は、現在の見込、予測およびリスクを伴う想定（一般的な経済状況および業界または市場の状況を含みますがこれらに限定されません）に基づいており、実際の業績とは大きく異なる可能性があります。今後、新たな情報、将来の事象の発生またはその他いかなる理由があっても、当社は本資料の将来に関する記述を更新または修正する義務を負うものではありません。